

○玉若酢命神社の大杉と粗面岩(17 時頃)【写真-7, 8】

隠岐には 150 社を数える神社があり、特に「玉若酢命神社」は、隠岐国の総社として 1200 年の歴史がある。そこには樹齢千数百年とされる大杉がある。この大杉は、ウルム氷期に本土から寒さを避けるために渡ってきたウラ杉の子孫とされる。また、神社の前には島後を形成した主要な岩である「粗面岩」が展示されている。



写真-7



写真-8

(10 月 19 日)

○島後から島前へのフェリーによる移動(8 時 30 分～10 時ころ)【写真-9, 10, 11】

8 時半に西郷港を出港し、中ノ島経由で西ノ島へ向かう。西郷港から海士町の菱浦港経由で西ノ島町別府港まで大型フェリーで約 1 時間半程度、結構遠い。途中の日本海は北東の風が強く、大型フェリーはゆっくり左右に揺れながら進む。途中で観光名所となっている「三郎岩」を撮影することが出来た。



写真-9



写真-10

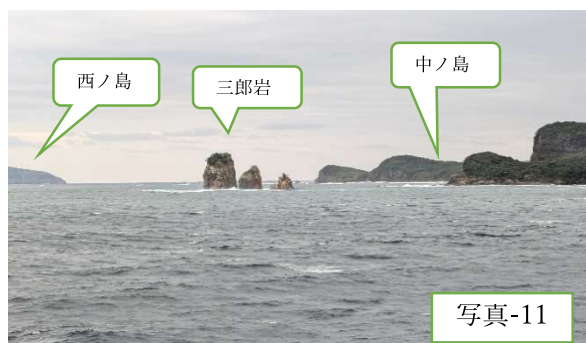


写真-11